



文化財保護・農林業振興・学校教育について

かな い ひさ お
金井久男 (日本共産党安中市議員)

町北遺跡の保存について

問 碓氷安中が古代から交通の要衝となってきた歴史的優位性を発信していくことが、市の観光資源を生かす道ではないか。

答 (みりょく創出部長) 本市は他市に見られない交通の要衝です。こうした交通文化を観光資源に活かしていきます。

問 町北遺跡を今後、どのように保存活用していく予定か。

答 (同部長) 予定されている市役所新庁舎の建設と合わせ、関係各課と協議を重ね、遺構の保存と活用を考え検討していきます。

山ビルの駆除・防除について

問 効果的な薬剤を使用して、活動している山ビルを駆除していけば、効果は出てくる。観光・農業などで重大な課題と位置付けて、しっかり駆除対策を立てて臨むべきでは。

答 (みりょく創出部長) 効果的な薬剤を希望者に支給することについては、薬剤価格や効果など慎重に調査研究していきます。

学校給食完全無料化について

問 全ての児童生徒への学校給食無料化に向けた基本的見解は。

答 (教育部長) 学びの支援として第3子以降の児童生徒及び、中学生全学年を対象に給食費を無償としています。現状が継続できるように努めていきます。

オーガニック給食について

問 安全・安心な食材を子どもたちに食べさせるというオーガニック給食の認識は。

答 (教育部長) 有機栽培で作られた農作物は、添加物や残留農薬の影響が少なく安全性においてより安心であると考えます。

調理業務の民間委託の影響について

問 自校方式の給食も民間に調理業務が委託されたが、直営と比べて影響は。

答 (教育部長) 民間委託後は、栄養士の本来の仕事、献立作成の充実や食育に専念することが可能になりました。



ごみの減量化・学校統合・平和行政について

まつもと つぎ お
松本次男 (清風クラブ)

ごみ排出量について

問 1人当たりの家庭ごみ排出量の現状は。

答 (市民環境部長) 令和3年度の環境省が取りまとめた調査結果によれば、本市の一般廃棄物の1人1日当たりのごみ排出量は、県内35市町村のうち少ない順で21位となっています。これは、群馬県の平均量を上回っている状況です。

品目別の取り組みについて

問 「生ごみ」の減量化への取り組みは。

答 (市民環境部長) 生ごみ処理器購入費用に対し、補助金交付を実施しています。令和4年度には、ダンボールコンポストのキットを200セット無料配布しました。また、市環境保健自治団体連合会では、生ごみの水切り器を希望者に無料配布しています。

問 生ごみ処理器設置補助金の増額は。

答 (同部長) 令和3年度より、予算額を上回る申請数が続いている現状から、予算額の拡充を検討します。

問 「紙・布類」の減量化への取り組みは。

答 (同部長) 古紙、古着等の地域団体による有価物集団回収に取り組んでいます。

ごみと資源の分別について

問 プラスチックごみ分別収集への課題は。

答 (市民環境部長) 分別収集については、硬質プラスチックや軟質プラスチック、ペットボトルなどの分類が多種にわたるため、ごみステーション回収、拠点回収等の方向性を定めることが重要となります。また、使用済みプラスチック類の収集が可能となる業者の選定、回収物を分別する際のストックヤードの確保、さらに現時点では中間処理業者が市内に存在していないことなどから、継続的な搬出先の確保、分別が多種にわたることによる市民への広報や周知も課題と言えます。

その他、学校統合と平和行政について質問しました。